

第2期岐阜市生物多様性プラン(案)【概要版】

第1章

背景と基本的事項

■ 生物多様性プラン改定の必要性、背景

- 岐阜市生物多様性プランが2025（令和7）年度、計画期間終了
- 生物多様性国家戦略2023-2030の閣議決定など⇒「ネイチャーポジティブ」※の実現が目標
- 「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック2023」の作成など⇒現状を確認
- 本市の生物多様性の現状、国などの生物多様性保全の動向を考慮し、取組を見直し

※ネイチャーポジティブ：自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること
生物多様性国家戦略2023-2030、昆明・モントリオール生物多様性枠組のなかで2030年までのミッションとして設定

■ 位置づけ、計画期間

- 「岐阜市環境基本計画」に基づき、岐阜市の生物多様性について目指すべき姿を示した基本的な計画
- 計画期間：2026（令和8）年度～2035（令和17）年度

■ 岐阜市のこれまでの取組

- 「岐阜市自然環境の保全に関する条例」の制定
⇒貴重野生動植物種、自然環境保全地区の指定など
- 「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト2015」などの公表
- 「岐阜市生物多様性プラン」の策定
⇒3つの基本方針と8つの取組の設定
⇒3年ごとに「生物多様性アクションプラン」を改定し、管理



達目洞

第2章

岐阜市における生物多様性の現状と課題

■ 岐阜市の動植物

分類群名	種数	分類群名	種数	分類群名	種数
植物	1,777	爬虫類	23	昆虫類	3,567
哺乳類	39	両生類	19	貝類	139
鳥類	250	魚類	107	甲殻類(十脚類)	18

- これまでに実施した調査により、市内では5,939種の動植物を確認

■ 「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック2023」から明らかになったこと

- 市内で確認された動植物のうち約7%の種は絶滅の危惧があり、約5%の種が外来種に該当
- 両生類、貝類で絶滅危惧種が増加。植物の一部の外来種の分布が拡大

■ 生物多様性についての課題

岐阜市における生物多様性の現状から、6つの課題を抽出

- ① 周知・啓発、人づくり
- ② 希少種、重要な環境の保全
- ③ 外来種対策
- ④ 生態系再生の推進
- ⑤ 長良川流域のつながりづくり
- ⑥ 生物多様性につながる文化・産業の振興



大洞

第3章

生物多様性プランが目指すもの

■ 目指すべき将来の岐阜市の姿

多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち

- 多様な生きものが、欠けることなく市民の暮らしとともに生きている、生物多様性が回復されて、特別なことではなくなるような岐阜市を目指す。

■ 3つの基本方針と6つの取組

- 目指すべき将来の岐阜市の姿を実現し、生物多様性の課題を改善するため、3つの基本方針のもと、6つの取組を策定

基本方針

生物多様性への理解推進

生物多様性の保全と再生

生物多様性の恵みの活用

取組

理解を進めるための取組

- ① 周知・啓発、人づくり

保全などについての取組

- ② 希少種、重要な環境の保全
- ③ 外来種対策

再生などについての取組

- ④ 生態系再生の推進

活用などについての取組

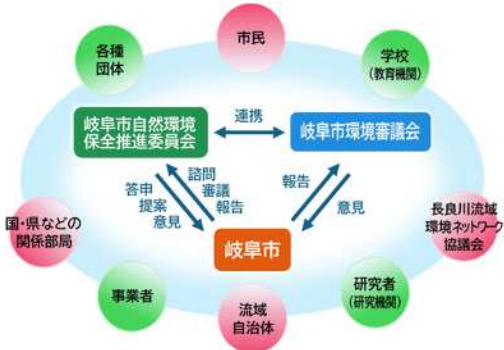
- ⑤ 長良川流域のつながりづくり
- ⑥ 生物多様性につながる文化・産業の振興

第4章

推進体制

■ 推進体制

「第2期岐阜市生物多様性プラン」が目指す「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」を実現するために、市、市民、各種団体、学校、事業者、研究者などが、相互に連携して取組を推進



■ 進捗管理

PDCAサイクルによる進捗管理を実施



Plan	基本方針や取組内容の検討
Do	各主体の取組の推進
Check	アクションプランで数値目標を設定し、進捗状況を点検・評価
Action	アクションプランを3年ごとに見直し